バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：http://okashi.info　e-mail：okashi@nespe.com

令和３年　３月22日（月曜日）
（毎月12、22日発行）第2249号
昭和41年７月２日第３種郵便物認可

発行所　〒553-0003 大阪市福島区福島 1-2-12-605
TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,400円

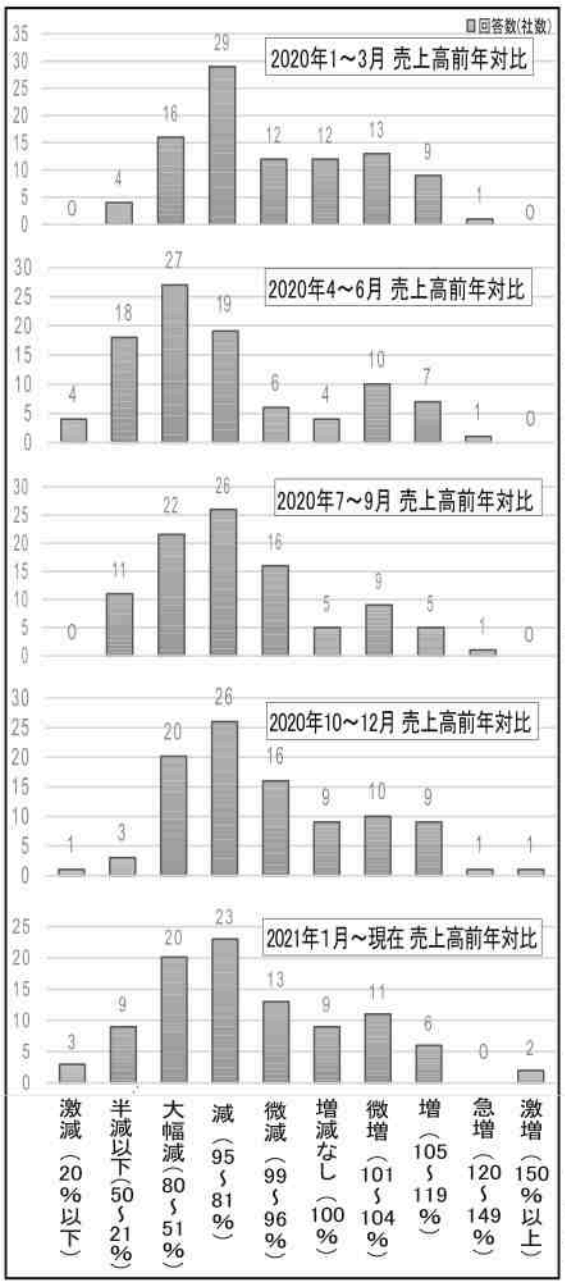
弊紙独自調査

コロナ禍の影響アンケート

昨年、前年割れ企業76％

菓子業界を揺るがし続けているコロナ禍は、ワクチン接種の開始など明るい兆しはあるものの、収束までの道はまだ遠い状況だ。

弊紙では昨年、２回の緊急アンケートに続き、コロナ禍一年を振り返るため第３回目となるアンケートを２月に実施した。弊紙読者のうち、菓子メーカー・問屋・機材メーカー等にアンケートをお願いしたところ、98社から回答いただいた。菓子業界全体の数字とは言えないが様々な特徴は現れている。業界の状況を知り、今後の展望の一助としていただくため、今号次号にわたり結果を紹介する。ご協力をいただいた各企業様に感謝申し上げる。



回答いただいた企業は関西地域の割合が83％をしめ、メーカーが79％、大企業８％・中小42％・小規模50％の割合だった。２０２０年の売上げ（前年比）に関し、85社から具体的な数字の記載による回答をいただいた。昨年の売上げは単純平均で前年対比83％となり、全体の76％の企業が減収となった。全体を通してみると売上げ８割減の企業もある中で、４割以上伸ばしたところもあり、大きな格差があった。

３割以上減少した企業は21％あり、５割以上減少は５％あった。５割以上減少した４社をみると、所在地は全て京都で、主な販路は観光客・地元客を中心とした自店、百貨店、土産店（駅、サービスエリア含む）となっており、コロナ禍で観光客が激減した現状があらわれた。従業員数は５人以下、20人以下の企業となっている。

一方で１００％以上と前年越えの企業は20社。そのうち２社は１１０％以上で、食品機械メーカー、地元客を中心とした和生菓子製造者となっている。１００％台を維持した18社を見てみると、卸、せんべい、米菓、油菓子、豆菓子、ビスケット、チョコレート、チューインガム、原材料資材、半生菓子と幅広い。和生菓子製造は地元客を中心としたところが５社該当しており、他は量販店を主な販路としている。18社のうち、従業員が３００人以上は５社、１００人以上は３社だが、５人以下の企業は３社、６～20人企業は４社、21～99人企業は３社と、大企業の過半数（回答割合）が前年越えをしているのに対し、中小は全体では厳しいが一部頑張りをみせている。

コロナ禍でＥＣサイトを始めたかの問いに、９社（うち１社は前年比の数字記載なし）が新しく始めたと回答しているが、そのうちの５社は前年以上の売上げを維持しており、新しく始めた取り組みが功を奏していると考えられる。前年以上売上げがある企業は、ツイッター、インスタグラムなどのＳＮＳを新しく始めたかの問いに、ほぼ全ての企業が「前からある」、「新しく始めた」と回答しており、前向きな発信の姿勢が数字に寄与し、コロナによる落ち込みを補填したと思われる。

昨年４～６月　売上げ大幅減に

左のグラフは、２０２０年１月から現在までを３カ月ごとに区切り、前年対比の売上げを、激減（前年対比20％以下）、半減以下（同50～21％）、大幅減（同80～51％）、減（同95～81％）、微減（同99～96％）、増減なし（同１００％）、微増（同１０１～１０４％）、増（同１０５～１１９％）、急増（同１２０～１４９％）、激増（同１５０％以上）の10項目で調査したものである。

３カ月ごとの売上げ調査には96社が回答していただいた。２０２０年を振り返ると２月３日が「ダイヤモンドプリンセス」の検疫開始、小中学校の休校要請が３月２日からだった。１～３月はコロナの影響が出始めており、本来なら卒業・歓送迎会などで華やかに賑わうはずが人との接触を避けるように呼びかけられていた。そんななか昨年１～３月の売上げは35社が前年以上を確保したが、半数以上の61社が前年割れとなっている。一番多い項目は、減（前年比95～81％）で29社。

４月７日から５月27日までは緊急事態宣言が発令され、リモートワーク、ステイホームが進められた。４～６月は前年超えの企業が22社、前年割れが74社（割合にすると77％）となり、１～３月よりも大きく影響が出たことがわかる。一番多い項目は大幅減（80～51％）で27社と、これも同じく１～３月より下に傾いた。激減（20％以下）が４社もある。

７月22日からはＧｏＴｏトラベルが開始され人の往来が増えつつあったが、コロナ第二波の影響で自粛傾向のなか、７～９月の前年超えの企業は20社、前年割れは75社となった（１～６月に回答した１社は改装中のため回答なし）。一番多い項目は、減（95～81％）で26社と、４～６月より持ち直しているようにも思えるが、大幅減（80～51％）は22社と多い。

10月からは東京都民もＧｏＴｏトラベルを利用できるようになり、少しずつ活気を取り戻すなかにあり、10～12月の前年超えの企業は30社、前年割れは66社となった。１番多い項目は減（95～81％）で26社、次に大幅減（80～51％）21社となっている。

２０２１年１月７日からは再び緊急事態宣言の発令となり、自粛が呼びかけられた。今年１月から現在において、前年超えの企業は28社、前年割れは68社となった。１番多い項目は、減（95～81％）で23社、次に大幅減（80～51％）20社となり、再び冷え込みつつある。ただここで激増（50％以上）が２社あり、２社とも前述した前年で１１０％以上ある企業だった。激減（20％以下）の企業が３社と増えており、これからの先行きは不透明のままである。

（業種、従業員数、販路毎の分析は次号に続く）

３面　ちぼりセンター開設
４～７面　菓子原材料・関連企業特集
８面　京都コロナ禍の影響調査

おいしさと夢と健康を
Furuta®

えがおこうじょう

新製品 New

フルタ製菓株式会社　〒544-0023 大阪市生野区林寺 6-7-22
http://www.furuta.co.jp/